

旬なひと

帰ってきた頼れる守護神



1 Hideaki Ozawa

おざわ ひで あき 小澤 英明

旧北浦町の津沼小学校、北浦中学校、水戸短期大学付属高校を経て92年アントラーズへ入団。地元生え抜きのリーガー。96年10月腰痛を克服して復帰。横浜F・マリノス、セレッソ大阪、FC東京と移籍し、それぞれのチームで経験を積み重ね、たくましさを増してアントラーズに帰ってきた小澤選手。5月1日、練習を終えた小澤選手にお話を伺いました。

の自信となりました。また、高校2年の2月にユースの代表として参加したわけですが、県とは違う、全国のレベルや雰囲気にも触れたことが、キーパーとしての自信になっていきました。

キーパーとして大切なことは？
人としての信頼性です。メンバーから信頼を得られることが大切です。

キーパーのおもしろさは？
11人のメンバーで唯一手を使うことができるポジションです。また一番後ろで、ゲームの全体を見渡せることです。自分の指示によってプレーがどう変わっていくかが、おもしろいと思います。



おざわ・ひであき…32歳、188cm・84kg

サッカーを始めたきっかけは？

旧北浦町は全体的にサッカーが盛んで、津沼小もそうでしたから、サッカーを始めやすい環境にありました。また、当時は漫画のキャプテン翼が流行っていたのでその影響も大きく、自然にサッカーに入りました。

キーパーを始めたのは、いつ頃からですか？

もともと友達と遊ぶときは、キーパーが多かったですね。中学に入って、本格的にキーパーを始めました。

キーパーの転機となったのは何ですか？

全国大会に出場し、よい成績を残したことは、キーパーとし

ての自信となりました。また、高校2年の2月にユースの代表として参加したわけですが、県とは違う、全国のレベルや雰囲気にも触れたことが、キーパーとしての自信になっていきました。

キーパーとして大切なことは？
人としての信頼性です。メンバーから信頼を得られることが大切です。

キーパーのおもしろさは？
11人のメンバーで唯一手を使うことができるポジションです。また一番後ろで、ゲームの全体を見渡せることです。自分の指示によってプレーがどう変わっていくかが、おもしろいと思います。



インタビューは、津沼サッカー少年団時代の指導者松下山根さんです。

プロになったときの感想は？
とても恵まれた環境だったと思います。施設の環境もそうです。

印象に残っている試合は？
プロ前で、高校最後の選手権の試合（主将でした。プロになってからは、復帰して最初の公式戦です。99年5月の対ジェフ戦。4-1の勝利でした。）

オフの日は何をしていますか？
身体を休めることにしています。でも生活のリズムは変えずに、家族と温泉や銭湯に行きます。この辺りでしたら、鎌田市の「とつぷさんで」や鹿島セントラルのゆの館も行きますね。

キーパーをしている子どもたちにメッセージ。
キーパーは人としての信頼性

読者PRESENT

小澤英明選手のサイン色紙を5名の方に抽選でプレゼントします。



官製ハガキに住所、氏名を明記のうえ、**5月30日**（当日消印有効）までお送り下さい。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒311-3892 行方市麻生156-9
秘書広報課まで

が大事です。そして自信をもってプレーすること。自信がもてるようになるには、ひたすら練習しかない。ひたむきに練習していくことで、自分の中に自信がついていくと思います。

4月から行方市もホームタウンになりました。

グラウンドや、スタジアムにきて、サッカーの魅力を感じていただきたいと思います。そして普段の練習風景も見に来てくださ